

寺井 雄二 議員

震災瓦れきの受け入れとその対応は

問 県の瓦れき受け入れ要請について、本市としての考えは。

答 県市長会の決意に沿って、被災地のお役に立ちたいと考える。受け入れる場合には、放射能汚染に対する安全が十分担保されること、また、風評被害が生じないよう万全の体制であることなどが前提である。

問 瓦れきの受け入れについて、住民に対してどのように理解を求めていくのか。

答 放射能に対する不安や風評被害の心配は、多くの方から伺っており、先日、茶業関係者からも要望を受けたところである。国や県とも連携した中で、関係業者及び地元の方々との説明会などを設け、理解を求めていきたい。



地震・津波対策が望まれる浅羽揚水機場

農業施設における

地震津波対策は

問 浅羽揚水機場及び附帯する農業施設に対し、国に対策を要請すべきではないか。

答 浅羽揚水機場は、現在まで耐震診断も実施していない。また、津波による浸水も考えられるため、浅羽揚水機場施設管理強化推進委員会などで協議し、さらに国へ要請をしていきたい。

高橋 美博 議員

原子力防災への取り組みは

問 緊急防護措置計画範囲が30キロメートル圏に拡大する方向にある。中電と関係5市2町の「情勢連絡会」にとどまらず、原子力安全協定を結ぶべきでは。

答 福島第一原発事故の悲惨な実態から、できる限り早期に中電と締結したい。県や関係市町と連携・調整を図る中で最大限努力していきたい。

問 国の防災指針の提示を待つことなく、避難マニュアルの作成や避難訓練を実施する考えはないか。

答 浜岡原発事故などに対応した避難マニュアルの作成や避難訓練の必要性は認識しているが、県から、国や県の避難計画と整合性を図った上で計画を策定するよう指示が出されている。県の「原子力防災対策研究会」の情報を収集し、研究を進めていきたい。

新病院への公共交通

アクセスの検討状況は

問 公共交通整備プロジェクト会議において、新病院へのバス路線の協議状況はどうか。

答 民間事業者は市の補助金なしでは運行できないとしており、市補助による運行を含め協議を進めている。自主運行バスは、現行路線を基本に、新病院アクセス路線に接続ができるよう調整作業をしている。



アクセスが検討されている新病院の工事現場